

みんな楽しく♪ピアノの日

あこがれのグランドピアノを堪能

2月27日、天草市民センターホールで「みんな楽しく♪ピアノの日」と題してピアノの演奏会が開かれ、応募した子どもからおとなまで82人が参加しました。これは市が、同センター内に設置しているグランドピアノを気軽に弾いてもらおうと開催したもの。参加者は、ソロや2人1組の連弾で曲を披露しながら、あこがれのグランドピアノの弾き心地を堪能。「ピアノがきれいで驚いた」「緊張したけど楽しく弾けた」などと話していました。



▲連弾を披露する参加者



▲練習の成果を発表する児童たち

演劇アウトリーチ事業in天草・浦和小公開發表会

体全体を使って表現したよ！

2月20日、「演劇アウトリーチ事業in天草・浦和小公開發表会」が天草市民センターホールで開催されました。同事業は、演劇を通したコミュニケーション能力の育成を目的に、市と熊本県立劇場が企画。昨年12月から有明町の浦和小学校4・5年生が取り組み、発表会はその成果を披露しようと開かれたもの。同会では、演出家の指導を受けた児童たちが創作劇を発表。体全体を使って感情豊かに演じ、会場からは大きな拍手が送られていました。

日本の宝島“天草”づくり講演会

活力ある島づくりについて学ぶ

2月27日、栖本町の栖本福祉会館で「日本の宝島“天草”づくり講演会」が開かれ、まちづくり協議会の役員など252人が参加しました。これは市が、まちづくりに対する意識の高揚を図ることなどを目的に、毎年開催しているもの。島根県海士町の交流促進課・青山富寿生課長と同町観光協会のサミーラ・グナワラデナ氏が「海士ならではの笑顔の追求」と題して講演。同町におけるまちづくりなどの取り組みが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演を行った青山課長(左)とサミーラ氏(右)



▲スタートする選手たち

天草サイクルマラソン

天草路を自転車で快走！

天草下島を自転車で一周する「第18回天草サイクルマラソン」が3月6日、新和町の新和町民センターをスタート・ゴールとする135kmと96kmのコースで開かれました。これは、熊本県サイクリング協会が毎年開催しているもの。大会には、県内外はもとより、関東・関西方面の11歳から78歳までのサイクリング愛好家・約400人が出走。この日はあいにくの雨となりましたが、参加者は完走を目ざして天草路を快走していました。

地域福祉ネットワーク事業推進講演会

倉岳

支えあいのまちづくりを目ざして

3月13日、市社会福祉協議会・倉岳支所主催で「地域福祉ネットワーク事業推進講演会」が倉岳多目的研修集会施設で開かれ、行政区長や民生委員・児童委員、福祉関係者など約100人が参加しました。同会では、阿蘇市社会福祉協議会・地域福祉専門員の山本由紀子さんが、「ネットワーク活動の進め方」と題して、同市における活動事例などを交えながら講演。参加者は、山本さんの話に耳を傾けながら、地域での見守りの重要性について学んでいました。



▲「身近な範囲でもっときめこまかな見守りネットワーク活動が必要」と話す山本さん



▲この海岸付近に教会があった説明を聞く参加者たち

御領地区史跡探訪

五和

郷土の歴史や活躍に感嘆！

2月20日、御領まちづくり振興会主催による史跡探訪が行われ、50人が参加しました。これは、御領の歴史や文化を学び、地域を見直そうと昭和46年から実施されているもの。この日は、郷土史家の案内でキリシタン墓碑や神社などを散策したほか、長崎県にある大浦天主堂やグラバー邸などを建築し、日本における西洋建築の先駆者でもあった同地区出身の小山秀之進のゆかりも探訪。参加者たちは、初めて聞く地元の歴史を熱心に聞き入っていました。

下田南ウォーキング大会

天草

みんなで歩き春を感じる！！

3月13日、「下田南ウォーキング大会」が開かれ、地区住民52人が参加しました。これは、下田南地区振興会が、地元を歩きながら住民の親睦を深めようと毎年開催しているもの。この日は、春を思わせる陽気の中、参加者は同地区内を散策する“はりきり(4.2km)”と“ゆったり(3km)”のコースに分かれて出発。自分の体力にあわせて思い通りのペースで歩いたほか、乳母車を押しながら歩く家族の姿も見られるなど、楽しいひとときを過ごしていました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

大多尾小学校と新和小学校が合同で遠足

新和

和気あいあいの中で遠足を満喫

大多尾小学校と新和小学校が3月1日、合同で新和みどりの村までの遠足を行いました。これは、4月1日に統合する両校が学校間交流として行ったもの。これまでにプールや授業などでも実施しており、今回が4回目になります。この日は、両校の児童たちがいっしょに仲良くお弁当を食べたり、シイタケの駒打ちをしたりして、終始和気あいあいの中で遠足を満喫。参加した児童は、「4月からの学校生活が楽しみです」と話していました。



▲仲良くおいしそうにお弁当を食べる児童たち